

令和2年度 【宍粟市】認知症地域支援推進員活動報告

【宍粟市】の認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員： 2名

2 認知症地域支援推進員の役割

- 地域住民への認知症の正しい理解の啓発
認知症に関する講演会や講座の開催、市の取り組みの周知
認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の開催支援
（認知症キャラバン・メイト連絡会の開催）
チームオレンジの立ち上げ
- 認知症ケアの質の向上
認知症介護専門職研修の企画、調整
- 多職種連絡会の企画、調整
認知症施策検討会
- 認知症の人やその家族への支援
認知症の人やその家族に対する相談支援
オレンジカフェ（認知症カフェ）の運営支援
（オレンジカフェ連絡会等の開催）
認知症初期集中支援事業の推進
高齢者等見守り支援（SOS登録）や高齢者声かけ訓練・伝達訓練の実施
- 認知症ケアパスの見直しと普及、リーフレット作製

報告者氏名：取越かおり・菅谷美佳

【宍粟市】認知症施策全体図

適時・適切な医療・介護等の提供

相談窓口の普及・啓発
認知症地域支援推進員の配置
認知症初期集中支援チーム
認知症予防健診

普及・啓発活動

認知症講座・講演会
認知症に関する取り組みの周知

人材育成

認知症介護専門職研修

認知症サポーターの養成・活用

認知症サポーター養成講座
認知症サポーターステップアップ講座
認知症キャラバン・メイト連絡会
チームオレンジの立ち上げ

権利擁護

成年後見センターとの連携

家族介護者への支援

オレンジカフェの普及・啓発
オレンジカフェ連絡会
家族会立ち上げ

予防

コグニサイズ教室
認知症予防講座

認知症施策の推進

認知症施策検討会

ひとり外出見守り・SOSネットワーク

GPS機利用支援
見守りSOSネット・SOS協力機関伝達訓練
高齢者声かけ訓練

認知症の人や家族が

安心して暮らせる まちをつくる



【宍粟市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号<②> 標題 早期診断後の支援体制の整備

宍粟市 認知症予防健診

【目的】 兵庫県版認知症チェックシートを活用した「認知症予防健診」を実施し、認知症の疑いのある人を早期の受診につなげる取り組みを推進する。

【内容】

実施方法	特定健診時に70～74歳の受診者全員
ツール	兵庫県版認知症チェックシート
実施日	令和2年6月～12月の特定健診日
実施人数	1225人（特定健診受診者総数：5680人）
結果の返し方	結果：異常なし（31点以下） 1211人 要精密14人 その場で職員が採点し、30点以下の人は結果票を返す。 31点以上の人には後日訪問することを伝える。

【要精密者のフォロー】

- ・ 既医療 6人（介護認定あり：5人 サービス利用有り：5人）
- ・ 受診勧奨 8人

後日、要精密者宅に保健師・認知症地域支援推進員が訪問し、本人や家族から様子を聞き取り、必要な人には受診勧奨する。



【市町名】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号<②> 標題 早期診断後の支援体制の整備

【受診勧奨～受診結果】

- ・受診：5人
- ・通院しているが相談しなかった：2人
- ・受診拒否：1人



認知症診断	0人
MCI	2人
精査中	1人
かかりつけ医に相談中	1人
その他	1人（脳出血治療中）



令和3年4月15日現在

- ・既医療者1人が介護認定申請、サービス利用につながる

【健診中のその他の事例】

- ① 年齢が対象外であったが、本人が心配し相談された。
- ② 30点未満であったが、本人に不安があり気になる症状もあった。
- ③ 30点未満であったが、職員が聞き取る際に気になる様子があった。
→訪問後、認知症初期集中支援チーム・地域包括支援センターで対応

- 【結果】
- | | | |
|---------------|--------|--------|
| ① レビー小体型認知症 | 介護認定申請 | サービス利用 |
| ② アルツハイマー型認知症 | 介護認定申請 | |
| ③ アルツハイマー型認知症 | 介護認定申請 | |



テーマ番号<②> 標題 早期診断後の支援体制の整備

【課題】

- ・認知症予防健診を初めて実施することになり、早期発見の意味で対象年齢を設定した。今後もこのままで実施するのか、対象年齢を広げるのか、実施場所や回数も含めて検討していく必要がある。
- ・今回要精密者の中には認知症診断がありサービス利用されている人も含まれたので、質問項目の追加が必要である。
- ・要精密者や30点以下ではあったが認知症を心配している人など、認知症やその予防について学ぶ教室を開催していく。

最後に・・・（今後の取組みに対する認知症地域支援推進員としての思い）

健診は認知症チェックリストの点数だけにとらわれず、聞き取り時の様子や本人の思いなどを聞いて、早期に対応することができた。

認知症の相談は今までは家族や周りの人からが多かったが、今回は本人の気づきがあり、その思いを大切に支援を行った。現在も支援を継続している事例もあるが、本人や家族の思いを聞きながらつないでいこうと思う。

そのためにも健診後訪問だけでなく、「認知症」や「認知症予防」が学習できる集まりができればと思う。今はコロナ禍で難しい事もあるが、認知症に関する事で心配や困っている人に寄り添って支援をしていきたい。

